

平成30年度 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（第3回）

■ 日時：平成30年9月11日（火）午後2時45分～4時45分

■ 場所：武蔵野市立第五中学校第一視聴覚室

次 第

1 開会

2 議事

（1）授業内容に関する議論

①本日の授業づくりや単元構成に関する説明

第五中学校 主任教諭 辻本 昭彦 先生

②授業視察を通しての感想、意見

③質疑応答

（2）市民科実施にあたっての課題についての議論

（特に①～③について）

①武蔵野市民科としての目標、資質・能力について

②武蔵野市民科で取り扱う学習テーマについて

③武蔵野市民科の評価について

④市民性を高める教育の取扱いと、市民科の実施学年について

（3）武蔵野市民科教員向け手引プロット案について

3 事務連絡

4 閉会

平成30年度 武蔵野市民科カリキュラム 作成委員会（第3回）

平成30年9月11日（火）

本日の内容

1 授業視察

第1学年 総合的な学習の時間「セカンドスクール（大町市・白馬村から武蔵野を振り返る）

（1）授業を見る際の視点

第五中学校のセカンドスクールの取組は「武蔵野市民科」として見たときに、どのような資質・能力を育んでいると言えるか。

2 授業内容に関する議論【約30分】

- （1）本日の授業づくりや単元構成に関する説明 第五中学校 辻本昭彦 主任教諭より
- （2）授業視察を通しての感想、意見
- （3）質疑応答

3 市民科実施にあたっての課題についての議論【約70分】

- （1）武蔵野市民科としての目標、資質・能力について
 - （2）武蔵野市民科で取り扱う学習テーマについて
 - （3）評価について
 - （4）市民性を高める教育の取扱いと、市民科の実施学年について
- 主に（1）～（3）について、前回の授業と今回の授業を受けて確定していく。

4 武蔵野市民科教員向け手引プロット案について【約5分】

4 考えるための技法の活用

(2) 考えるための技法の例と活用の仕方

○順序付ける

- ・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

○比較する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

○分類する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめること。

○関連付ける

- ・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
- ・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

○多面的に見る・多角的に見る

- ・対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

○理由付ける（原因や根拠を見付ける）

- ・対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。

○見通す（結果を予想する）

- ・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

○具体化する（個別化する、分解する）

- ・対象に関する上位概念・規則に当たる具体的な例を挙げたり、
対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

○抽象化する（一般化する、統合する）

- ・対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。

○構造化する

- ・考え方を構造的（網構造・層構造など）に整理する。

これらの「考えるための技法」により思考が深まる中で、児童は、例えば複数の軸で順序付け、比較、分類ができるようになったり、より多様な関連や様々な性質に着目できるようになったり、対象がもつ本質的な共通点や固有の性質に気付いたりできるようになるなど、「考えるための技法」を用いて効果的に思考することができるようになっていくと考えられる。

○ セカンドスクールのねらい

※全体を通してのねらいを番号を付けて箇条書きで記載してください。

- ①自然体験を通じて、環境保全意識と自然そのものへの畏敬の心を培う。
- ②農業体験を通じて、勤労を尊重する姿勢と知的好奇心を養いながら課題解決力を養う。
- ③宿泊体験を通じて、自主自律の意識を高めるとともに協調性と人間関係調整能力を養う。
- ④交流体験を通じて、自らが住む町や地域の改善を模索する市民性と、自らの考えを論理的に表現する力を養う。
- ⑤国際競技場見学体験を通じて、かつてのオリンピック・パラリンピックの感動を共有し、来る東京五輪への参加応援意識を高める。
- ⑥歴史民俗施設見学体験を通じて、歴史街道成立の一端に触れながら文化の成立過程等への関心を高め

○ セカンドスクールに関わる総合的な学習の時間について

※年間指導計画、評価計画に基づいて記載してください。

単元名	大町市・白馬村から武藏野を振り返る	時数	39
単元のねらい	現地の自然や産業を知り、その地域社会の活動に参画することを通して他者と協力して課題を見つける、解決し、互いの考え方を伝え合う力を養うとともに、武藏野のコミュニティとの関わりを深める姿勢を培う。		
評価の観点名	課題解決力、コミュニケーション能力、情報活用能力、プレゼンテーション能力、社会参画力		

○ 教育課程上の位置付け（時数配当）

(1) 事前学習

教科・領域名	時数	概要
総合的な学習の時間	5	武藏野市及びその周辺についての地勢、産業、歴史、文化等を調べ、仁科台中学校とのポスターセッションに備える。
総合的な学習の時間	3	千国街道を中心とした地域の風土、風俗等を調べ、街歩き探訪や民宿時の交流に備える。

(2) セカンドスクールの期間中

総合的な学習の時間	活動名等	時数	晴/雨	実施日	活動のねらい		全体のねらいとの関連	
					晴	雨		
総合的な学習の時間	塩の道ちょうじや見学	1		1日目	博物館見学を通して、昔と今の千国街道とその中継地の産業について知る。		⑥	
	大町市内探訪	2		1日目	大町市立仁科台中学校1年生との大町市の街中探訪を通じて大町市内について知り、交流を深める。		④	
	ポスターセッション	1		1日目	仁科台中学校1年生とお互いの住む地域のプレゼンテーションとセッションを通じて市民性を高める。		④	
	長野オリパラ学習	2		2・5日目	長野五輪の会場の白馬ジャンプ競技場で講話を聴き、オリ・パラのレガシーについて学ぶ。		⑤	
	八方池登山	4		2日目	登山活動を通じて、自然とふれあう体験を行い、自然豊かな環境を保全する意識を高める。		①	
	親海湿原環境保全活動	2		3日目	現地の農家の方々と一緒に湿原保全活動(希少植物保護活動)を行い、勤労や奉仕の心を養う。		①②	
	民宿の方との交流学習	2		3・4日目	農家の意見交換学習活動(食育・オリパラ)を行い、オリパラへの興味関心を深める。		③④	
	農村ふれあい体験	6		3・4日目	農家民宿の方にものづくりや保存食(漬物等)作りを教えてもらい、実際に体験して会得する。		②③④	
	稲刈り体験	2		4日目	鎌やコンバイン等を用いた収穫体験活動を行い、米の収穫過程と農家の仕事について理解する。		②	
学校行事	地域施設の視察	1		5日目	地域施設の視察やレクチャーを受けて、地域活性化のためのアイディアを学び、市民性を育てる。		①④	
	出発式・入村式	0.7		1日目	集団行動や安全で規律ある行動を促す取組		遠足・集団宿泊	
	動植物園見学	1		1日目	現地の動物や植物等の生態系を観察する活動		遠足・集団宿泊	
	退館式・入村式	0.8		2日目	集団行動や安全で規律ある行動を促す取組		勤労生産・奉仕	
	オリエンテーション・環境保全	1.5		2・3日目	入村前の安全教育や環境保全奉仕活動		勤労生産・奉仕	
	民宿の方との交流	0.5		2日目	現地の自然や文化・歴史や人付き合いを学習する活動		勤労生産・奉仕	
	商業施設体験	1		3日目	現地の名所や特産物などに触れて体験する活動		文化	
	食事会	1		3日目	伝統的・文化継承や集団生活・公衆道德を体得する活動		遠足・集団宿泊	
	残置物処理	1		4日目	伐採物の清掃奉仕的活動		勤労生産・奉仕	
	退館式・退村式・解散式	1.5		5日目	実行委員会を中心とした儀式的行事		遠足・集団宿泊	
晴プロ					総合的な学習の時間	23 時間	合計	32 時間
雨プロ					23 時間	9 時間		32 時間

(3) 事後学習

※すべての活動を晴プロ、雨プロで行った場合の時数です。

教科・領域名	時数	概要
総合的な学習の時間	8	交流学習、農家体験等で発見した課題を解決し、その結果をポスターセッション形式で発表する。

武蔵野市民科教員向け手引プロット案

はじめに	1 ページ
目次	1 ページ
1. 「武蔵野市民科」の趣旨	
(1) 市民性（シティズンシップ）とは何か	1 ページ
(2) 武蔵野市民科の目的（市民性を高める教育がなぜ求められるのか、これまでの経緯）	2 ページ
(3) 市民性の育成に関する武蔵野市の現状（市政、学校の取組、子どもの現状を各 1 ページ）	3 ページ
2. 武蔵野市民科の目標等	
(1) 目標	1 ページ
(2) 育成を目指す資質・能力	7 ページ
(これからの時代に求められる資質・能力について 1 ページ、自立、協働、社会参画について各 2 ページ)	
3. 武蔵野市民科の内容	
(1) 教育課程上の位置付け	1 ページ
(実施学年、総合的な学習の時間、道徳、特別活動を中心とした教科横断的な取組)	
(2) 学習の基本的な考え方	2 ページ
(児童・生徒の関心や疑問等を生かした探究的な学習)	
(3) 武蔵野市民科で取り扱う学習テーマ例	11 ページ
(キャリア教育、福祉・ボランティア、国際理解教育、伝統・文化理解、環境教育、防災・安全教育、セカンドスクール、まちづくりへの参画、武蔵野の魅力発信、主権者教育の 10 項目について概要、関連するこれまでの取組など各 1 ページずつ)	
4. 指導計画作成に当たっての配慮事項	
(1) 単元計画作成の実際	2 ページ
(武蔵野市民科単元計画（案）を示して作成に当たっての留意事項を明記)	
(2) 武蔵野市民科の評価方法	1 ページ
(3) 指導に当たっての配慮事項	1 ページ
(地域連携、保護者への発信などこれまでの議論の中で出てきた配慮事項)	
5. 実践事例及びモデル案	
(1) 実践事例 ①境南小学校「未来に向けて」（6 年）	2 ページ
（「境南とことん研究所」（6 年））	2 ページ
②第五中学校「セカンドスクール」（1 年）	2 ページ
（「武蔵野市改造計画」（3 年））	2 ページ
(武蔵野市民科単元計画（案）を使った単元計画 1 ページ、子どもの感想、変容、写真、成果等 1 ページ)	
(2) モデル案 ①防災について考えよう（5 年）	1 ページ
②CO2削減アクション月間（5 年）	1 ページ
③職場体験学習（6 年）	1 ページ
④共に生きる（6 年）	1 ページ
⑤発信しよう！武蔵野市の魅力（6 年）	1 ページ
⑥武蔵野ルネサンス（中 1）	1 ページ
(小・中学校の各委員に提出いただいた実践案を掲載)	
奥付	1 ページ
	合計 49 ページ

※武蔵野市民科の全体構造が分かる概要版をこれとは別に A3 サイズ 1 枚で作成する。